

符共



第一機動基地航空部隊天曉
作戰部隊戰鬥概報着信處所

機密第三〇二〇四〇番電 二分ノ一二

一 K F G B 天信電令作第二六三編 (其ノ二)

ロ) X 日黎明時ヨリ三四三部隊二〇三部隊國分部隊ノ全戰鬥機隊ヲ以テ

列島線附近及泊地上空ニ特攻制壓八 F G B 特攻隊 (水上機ヲ含ム)

ノ全力及櫻花隊ヲ以テ泊地附近ノ敵艦船ニ對シ特別攻撃別動一一部隊

ヲ以テ數段ニ分ケ泊地附近ノ索敵攻撃ヲ實施

ハ) X 一日八〇一部隊及誌間部隊ヲ以テ夜間哨戒ヲ實施機動部隊ヲ補
捉セバ X 日七二一部隊國分部隊ノ全力ヲ以テ黎明發進空母ヲ索敵攻
撃ス。

通三三ノ三三一 呂一B (七八七五K) (一 K F G B 放 相澤・高尾 (吉 田)

五四 三〇 一〇 開始 〇二 〇四 〇〇 〇〇 一二 〇〇 本

五 受信 〇〇四一 〇三二五 〇〇〇〇八〇 作 概

作

五基地航空部隊 臺灣航空隊

總密第三〇二一三〇番電 二分ノ六二

新竹攻撃部隊戰國概報 (四月二十九日夜)

一八二〇一一九五〇ノ間ニ天山三機慶良間周邊敵艦船夜間雷撃ノ爲新
竹基地發進内一機ハ二一四〇慶良間北方ニ於テ微速航行中ノ運送機ニ
對シ發射セルモ命中セズ宜蘭經由三十日〇七三〇歸着他ノ二機中一機
ハ燃料ノ漏洩ト誤判斷臺北不時着參加ハ富貴角附近ニ於テ速度計高度
計不良トナリ一四一〇着何レモ攻撃ヲ實施セズ三十日〇七三〇迄ニ新
竹歸着

三二二五〇月光一機ハ中飛行場夜間爆撃ノ爲發進セルモ發動機不調ノ爲
途中ヨリ引返臺北不時着脚折損中破落乘員無事。
通五七 五八 呂一Bケ七 (三七八二) 五KC) 五PGB放 野木 (松井)

1511 5-1 臺灣航空隊

314

五 一 受信 〇〇三〇〇五 歸了 〇四〇〇 電自 〇〇〇一〇〇七 作機

緊急

鹿島航空基地

昭和廿五年五月廿八日



一 K F G B 天賦圖概報 (三十日一九〇〇)

機密第三〇二二二八番電 四分ノ一、二、三、四

二十九日沖繩周邊艦船及基地攻撃ノ爲天山五機銀河四機重爆二機夜戦一機ヲ指向(外ニ特攻二機發進豫定ナリシ所取止ム)

戰果銀河一沖繩東方海面ニテ分隊機若クハ巡洋艦ヲ雷撃火柱ニ

次デ水柱立停止スルヲ認ム銀河二機旧地ニテ巡洋艦雷撃命中

沈ヲ確認他ノ銀河重爆ハ他基地ニ歸投戦果後報伊江基地銃聲

火災一個所屋良間崩落不良ノ爲飛行機ヲ發見シ待ス幕舎銃聲

夜間ヨリ察明ニ直リテ無線機加セテ感情ヲ待ス

十日早朝偵察機二機ヲ以テ列島線東南方海面索敵ノ爲發進セ

九七七 西一Bケ七(七八七五K) 一K F G B 放

和洋(夜間)

315

1154

1152

4-30

モ二機夫先端附近ニテ...
 九五一空隊取〇四三〇東海ニ於テ空母ヲ含ム敵機動部隊ヲ發見ノ
 報ニ依リ向海面並ニ列島線東四面索敵ノ爲偵察二機發進一〇二
 〇沖繩北端東方六〇進ニ於テ正規空母二巡改一及其ノ一四〇度六
 進ニ正規空母一巡改一ノ二群ヲ發見(何レモ目視) 警戒全力ヲ以
 テ攻撃準備セルモ午前ノB-I二九ノ邀撃ニ依リ制空隊ノ進攻準備
 並ニ爆撃隊ノ燃弾準備遅延且偵察機可動機數少ナリ 制接持事不
 意等ニ依リ攻撃確算ナシト認メ之ヲ取止ム。

316

五四 三〇 受信二三四七 譯了二三二五 電〇〇〇三〇六 作 概
 三一 譯始二三〇〇七 譯了二三二五 電〇〇〇三〇六 作 概

至 急

作

海軍總隊參謀長

三〇一二二三〇

317

4-30
JL

- 七一情電第六四六號其ノ一二
- 三十日司偵搜索成果(寫真)
- 一北飛行場飛行場西側及西南側小型ヲ主トスル合計八二
- 二中飛行場小型合計七九
- 三江島飛行場滑走路二本概成東側滑走路ニ小型機一ヲ
- 四視界良

電第六四二號二十九日ノ敵情報告中慶良間飛行場

電信課註 本電其ノ三以下未着

協 發信局

